

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

9月号の目次

1 マナーアップ通信

- (1) 南郷高校 (2) 登米高校

2 特色ある取組

- (1) 白石高校七ヶ宿校 (2) 大河原商業高校 (3) 柴田高校
(4) 富谷高校 (5) 松島高校 (6) 加美農業高校
(7) 古川工業高校 (8) 岩ヶ崎高校 (9) 迫桜高校
(10) 石巻好文館高校 (11) 東松島高校

3 学校紹介

- (1) 白石工業高校 (2) 名取高校 (3) 泉高校
(4) 利府高校 (5) 古川高校 (6) 中新田高校
(7) 涌谷高校 (8) 登米総合産業高校 (9) 築館高校
(10) 石巻北高校

4 お知らせ

- (1) 蔵王高校 (2) 村田高校 (3) 仙台第三高校

1 マナーアップ通信

(1) 南郷高校 <マナー向上の取組>

南郷高校では、生活全般にわたりマナーアップを図るため、次のような活動や行事を行っています。

○挨拶運動の実施

毎月、昇降口において生徒会役員・生活委員・教員による全校生徒への声掛け運動を実施しています。学校全体で挨拶やマナーの意識の向上を図っています。今年度から本校でもボランティア団体「アルカス」を結成し、遠田警察署とも連携して実施しています。

○インターネット安全利用教室の実施

年に一度、外部から講師を招いて、インターネットやスマートフォン・携帯電話の安全な使い方やモラル・マナーの向上を図るために、インターネット安全利用教室を実施しています。

○交通講話やバイク実技講習会の実施

年に一度、遠田警察署から講師を招いて、主に自転車安全利用についての交通講話を実施しています。また、近隣の自動車学校に依頼し、原付バイク通学者を対象に車両の点検と正しい乗り方について、バイク実技講習会を実施しています。これらの行事を通して、交通ルールの遵守やマナー向上を図っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://nango-h.myswan.ed.jp/>

(2) 登米高校 <生徒会活動 【朝のあいさつ運動】>

登米高校生徒会では、毎週月・水・金曜日の朝に、あいさつ運動を行っています。新型コロナウイルス感染防止の点から大きな声は出しづらいですが、みんなに伝わるように笑顔で頑張っています。このあいさつ運動では、生徒会だけではなく、期間を決めて、各部活動や先生方も参加しています。

コロナ禍によりできないことがたくさんありますが、今年は少しずつ行事なども以前に近づけるよう、生徒会と学校とで相談をしながら進めています。そのような中で、学校を活気づけるためにも、朝から元気にあいさつをして盛り上げていきたいです。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tome-h.myswan.ed.jp>



2 特色ある取組

(1) 白石高校七ヶ宿校 <「わらじで歩こう七ヶ宿」に参加>

「七ヶ宿町」は江戸時代に奥州街道から分かれ、羽州街道に沿って七つの宿場町が置かれていたことにその名が由来しています。そのような歴史と伝統ある町の風情を歩いて探訪する「わらじで歩こう七ヶ宿」（8月28日（日））に全校で参加しました。山伏さんのほら貝での激励を受け、七ヶ宿スキー場を8時半に出発。ブナの湖→滑津小滝→親子松→安藤家本陣などを経て、七ヶ宿町役場までの約11キロの道のりを全員が踏破しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、川治いや山中を通る道中には、関所（通行手形改め所）や茶屋など休憩地点があり、地元野菜の漬物やスイカ、イワナの提供、川魚の放流体験などがあり、豊かな自然と歴史を肌で感じつつ、楽しんで歩くことができました。当日の様子（写真）は本校HPにも掲載していますので、ぜひ御覧ください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sitika.myswan.ed.jp/>

(2) 大河原商業高校 <自分たちの安全・ルールは自分たちで作る、そして守る ～大商登下校時の十の掟～ >

本校は登下校中の安全やマナーを守るため、自分たちの安全・ルールは自分たちで考えようと『大商登下校の十の掟(おきて)』を毎年作成しています。一昨年度は「大商登下校時の十の掟～基本編～」，昨年度は「大商登下校時の十の掟～電車編～」，今年度は「大商登下校時の十の掟～自転車編～」を作成しました。「掟」は各HRで意見を出し合い、生活安全委員会で10項目に絞り決定します。高校生ならではの内容や、大河原町ならではの内容も含まれており、校舎内に掲示しています。先生方や地域の方から注意されて直すのではなく、生徒が自分たちで守るための掟であることを意識して作成しています。

先日は、「みやぎ高校生サイクルサミット2022」に運営協力校(コーディネーター校)として参加し、本校の取組について「掟」を発表しました。この取組が、各学校の特色や地域の実状にあわせた形で広がり、このことが地域全体で取り組んでいくための発信源になることを目標として、これからも継続的に取り組んでいきたいと思えます。

大商登下校時の十の掟

基本編

登下校時の安全を確保せよ。

- 一 歩きスマホをしない。
- 二 旧4号線を横断しない。
- 三 友達と並列に広がって歩かない。
- 四 自転車運転中にスマホを操作しない。
- 五 自転車運転中はイヤホンをつけない。
- 六 暗くなったら明るい道を通る。
- 七 青信号でも横断歩道では油断しない。
- 八 不審者にあつたら、すぐに警察に連絡する。
- 九 死角に注意する。
- 十 坂道や田んぼ道など自転車のスピードをあげない。

宮城県大河原商業高等学校生活安全委員会



大商登下校時の十の掟

電車編

駅や電車内でのマナーアップを心がけよ。

- 一 イチャイチャしない。
- 二 床に座らない。
- 三 電車のなかではさわがない。
- 四 駅のホームや電車内にゴミを捨てない。
- 五 優先席では積極的に席をゆずる。
- 六 周りを見て行動する。
- 七 ホームでの歩きスマホ禁止。
- 八 電話をしない。
- 九 声のボリュームを考える。
- 十 駆け込み乗車はしない。

宮城県大河原商業高等学校生活安全委員会



< 学校のホームページはこちらです >

<https://ogs.myswan.ed.jp/>

(3) 柴田高校 <柴田高校, 全国の舞台へ!!>

○2名が全国で入賞を果たす

7~8月に開催された四国インターハイに、ウエイトリフティング部、陸上競技部、柔道部、水球部が、また全国大会にウエイトリフティング部女子、水球部女子が出場しました。

主な大会結果は次の通りです。

【第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会】

ハンマー投げ 加藤 翔 4位入賞

男子100m 守谷 蓮 準決勝進出

【第1回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技会】

76kg級 清野 朱音 6位入賞



表彰の様子(加藤 翔)

コロナ禍の中ではありましたが、本校より2名が全国の舞台で入賞するという快挙を成し遂げました。そして入賞することが叶わなかった生徒も、それぞれ力の限り戦ってきました。全国の舞台で戦ったという貴重な経験を次のステップでも生かしてほしいと思います。

今年度も全校生徒404名のうち29名がインターハイ出場と、非常に高い割合で上位大会への出場を果たしました。体育科の生徒はもちろん、普通科の生徒も部活動で素晴らしい活躍を見せてくれています。ぜひ10月29日(土)に行われる第3回オープンキャンパス(入試相談会)にお越しください。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

(4) 富谷高校 <SDGs 課題研究 研修ツアー>

富谷高校では、2学年の総合的な探究の時間(通称:T-time)においてSDGs課題研究を行っています。今年度も課題研究の共通テーマとして「まちづくり」を設定して研究を進めるために、地域の諸課題について学ぶ機会を設けています。8月25日(木)にクラス毎にバスで移動する研修ツアーを実施しました。研修先として、富谷市役所「富谷市養蜂事業」、コープ富谷共同購入物流センター「水素実証事業」、富谷市民俗ギャラリー「しんまち探訪」、みやぎ生活協同組合「こども食堂の運営」、加えてSDGsに取り組む企業として井ヶ田製茶、日本旅行東北、アクアイグニス、ナカリ株式会社の計8箇所とし、午前1箇所と午後1箇所訪問し、施設見学や講話、ワークショップを行いました。地域の課題に対して現場の方々がどのように対応し解決しているのかについての学びを、今後の課題研究のテーマ設定へと繋げていきます。

富谷高校は、今後もこのような活動を通して、生徒の主体的に地域の問題解決に取り組もうとする姿勢を養い、地域社会に貢献できる人材を育てていきます。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>

（５）松島高校 <販売実習（観光科1・2学年対象）が実施されました>

令和4年7月21日（木）から7月31日（日）まで観光科第2学年の生徒が、令和4年8月1日（月）から8月7日（日）まで観光科第1学年の生徒が販売実習を行いました。これは観光産業におけるマナーの知識と技術を身に付け、進路実現に役立てます。また、地域の方々との交流により地域を理解し、地域に貢献するボランティア精神を育むことも目的に、夏季休業中に松島町内の企業様にて1～2週間の期間研修を行いました。

実習に取り組んだ生徒からは「ホテルでの実習の最終日にはベッドメイキングなどの業務を自分で考えて行動できるようになっていました。また、お客様に笑顔で接客し、どのような対応をするべきか判断できるようになりました」、「今までしたことがなく普段ではできない経験をさせていただいて、最初は何も分からずに戸惑いましたが、事業所の方々に教えていただきながら自分でできることが増えて成長することができました」、「企業の方の業務内容がとても勉強になり、そのことで知識が増え、この経験を今後の観光ボランティアガイドに活かしていきたい」と感想をそれぞれ述べていました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(6) 加美農業高校 <「家庭クラブ」とは何ですか？>

家庭クラブとは、全国の家庭科を学ぶ高校生によって組織された団体です。「創造・勤労・愛情・奉仕」の4つの精神を活動の柱として、研究活動、ボランティア活動、交流活動を行っています。本校では、カイコの飼育とその活用に関する研究(写真1)に取り組んでいます。他にも、交通安全運動の一環でカエルのマスコット配布(写真2)、社会福祉協議会の方への草花の寄贈(写真3)、一人暮らしの高齢者の方へ地元の伝統野菜「小瀬名ダイコン」を使ったお弁当の配布(写真4)など様々な交流活動を行っています。

みなさんも本校生活技術科ならではの家庭クラブ活動に励んでみませんか。

学校のウェブサイトでは家庭クラブの様子を公開しています。是非御覧下さい。



写真1 カイコの飼育と活用に関する研究活



写真2 カエルのマスコットの寄贈



写真3 社会福祉協議会へのメッセージカードを添えた草花の贈呈



写真4 町内の一人暮らしの高齢者の方へのお弁当の配布活動

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kamino-h.myswan.ed.jp>

(7) 古川工業高校 <校外学習「E E東北見学会」>

新型コロナウイルス感染状況により、ここ2年間見学できなかった国土交通省東北事務所主催の「建設技術公開E E東北2022」が3年ぶりに行われました。

この見学会は、建設事に係わる新技術、新材料、新工法等の見学を通して、日常の教科学習への興味・関心を高め、学習意欲の向上を図るためのものです。

会場のみやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」には、設計・施工や維持管理・予防保全、防災・安全などの分野毎、過去最大の358出展者による1,040の技術が公開されました。

当日は、土木情報科全学年が参加し、各企業のブースの見学をはじめ、建設機械の試乗体験やドローンの操作体験など、限られた時間で意欲も持って活動できました。普段の授業では見聞きすることができない、生きた教材を通して、より建設産業に興味関心を持つ良い機会となりました。

見学後の生徒の作文には、「普段の授業で知ることができなかった土木の技術が理解できた」、「建設業の進歩がここまで進んでいるとは思っていなかった。新時代を感じた」、「土木の技術が私たちの生活を常に守っているなどあらためて感じた」といった感想が見られ、大変有意義な見学となりました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

(8) 岩ヶ崎高校 <栗原市役所岩高支所・栗っこティーチャー・C-PLAN・

金融経済教育講座>

地域の皆様の御協力のもと、岩ヶ崎高校で実施している様々な取り組みを御紹介します。

1 栗原市役所岩高支所（1・2年生）

総合的な探究の時間のテーマとして地域活性化を取り上げています。地域の課題についてフィールドワークを交えながら調べ、解決案の妥当性を協議し、発表します。地域を活性化させるには、よりよい社会にしていくなにはどうすべきか、様々な角度から考えることができる活動です。

2 栗っこティーチャー（1・2年生）

地域の各小学校のサマースクールで、本校生徒が学習のサポートをする活動です。模範となる行動をすることは勿論、広い視野を持つことの大切さ、自分自身が今後学ぶべきことへの気づき等、様々なことを学ぶことができます。残念ながら今年度は中止となりました。

3 C-PLAN（小学校への高校生教育助手派遣プログラム・3年生）

地域の各小学校で、教員等を目指す本校生徒が授業補助に入る活動です。掃除、集会活動、放課後活動等を通して小学生とふれ合うことで、将来の夢に向け学ぶべきことに気づき、決意を新たにすることができます。

4 金融経済教育講座（1年生）

東北財務局の御指導のもと、高校生がお金について、地元の小学生に向けて出前講座を行っています。資料や説明方法を工夫して、小学生の皆さんが楽しみながら勉強できるよう、丁寧に準備をしていきます。



1年生栗原市役所岩高支所の講義後の記録写真（昨年度）



金融経済教育講座の様子（昨年度）

< 学校のホームページはこちらです >

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

(9) 迫桜高校 <写真部の活動>

本校写真部は7月31日(日)から8月4日(木)に東京都で開催された第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022)に出場しました。全国総文祭に出場するのは5年連続となり、昨年度、一昨年度に引き続き優秀な成績を残せるよう、生徒たちは作品作りに励んできました。今年度は3年佐々木珠さん、佐藤里奈さん、2年安部陽菜さんの3名が宮城県代表として参加しました。その結果、佐々木珠さんの作品「羨慕」が奨励賞を受賞することができました。

受賞した佐々木珠さんは、「私の作品が評価され、家族・先生・友人から祝福の言葉をもらったことが嬉しかったです。表彰式の講評で、審査員の先生が私の撮影意図をくみ取ってお話してくださったことに感激しました。現地では全国の高校生と交流し、新しい写真技術について意見交換をしたり、東京浅草周辺の撮影会を通して東京の魅力を再発見したり、とても貴重な体験ができました。今後はこの経験を活かし、来年の第47回全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)へ下級生が出場できるように、全力でサポートしていきたいと思っています。」と語ってくれました。

今後も文化祭や写真展を通し、作品の公開をしていきます。また、未来の迫桜高校写真部入部をお待ちしています。



佐々木珠 「羨慕」

< 学校のホームページはこちらです >

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(10) 石巻好文館高校 <2年次分野別課題研究>

本校では、総合的な探究の時間を「甲斐ある人といわれたいむ」略して「甲斐たいむ」とよび、各年次で特色ある活動を行っています。2年次では自分で課題を見つけ、1年間かけて調査研究を行い、まとめていく「分野別課題研究」を行っています。興味があるキーワードをもとにSDGsの視点も加えて、テーマを設定し、分野も決定したところで、7月20日(水)に「大学教授出前講義」として石巻専修大学より専門の先生方をお招きして御講義をいただきました。それぞれ、専門の研究内容のことはもちろん、テーマや仮説についてのアドバイス、今後の研究の進め方など幅広く御講義いただき、生徒達はこれから始まる個人研究に向けて大いに参考とすることができました。今後は、個人研究が始まり、10月に中間発表、さらに研究を進め、まとめ上げたものを3月にポスターセッションにより全体で発表することになっています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://koubunkan.myswan.ed.jp>

(11) 東松島高校〈来年こそは実施できますように！～演劇特別授業～〉

東松島高校では、毎年「演劇特別授業」を夏休み期間中に開講しています。プロの劇団の方に指導していただき、受講する生徒は演劇を通して自己表現力やコミュニケーション力を身に付けていきます。

今年も東京演劇アンサンブルの役者5名を講師として迎え、「コーカサスの白墨の輪」を7月25日（月）から7月28日（木）の4日間で実施する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、残念ながら今年も実施を見送ることとなりました。

例年、授業最終日には公演が行われ、生徒や保護者、地域の方々、卒業生の皆様など多くの方に御来場いただき、当該授業で培った集大成を御覧いただいています。

「演劇特別授業」では、講師の指導を受け、先生方から励まされ、生徒同士の関わりを通して生徒自身が成長を実感できたという声が例年多く寄せられています。来年こそは、「演劇特別授業」でより豊かで充実した夏となるよう、実施できることを願っています。



写真は平成31年度実施のものです。

宮城県東松島高等学校HP



ホームページでブログ“ひがまつライフ”を日々更新中♪



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://higashi-matsushima.myswan.ed.jp/>

3 学校紹介

(1) 白石工業高校 〈体育大会そして白工祭へ〉

宮城県白石工業高等学校は、機械科・電気科・建築科・工業化学科・設備工業科の5つの学科を有しています。普通科目と同時に、専門科目を学びながら、生徒自身が将来の夢を叶えるため日々努力を重ねています。

そんな白工生が、全クラス対抗で白熱した戦いを繰り広げる体育大会が6月30日（木）から7月1日（金）にかけて行われました。昨年は学年ごとの対抗戦でしたが、今年は全クラス対抗戦に戻り、2年生と3年生の手に汗握る戦いや、体の大きさが一回りも違う3年生に懸命に食らいつく1年生など熱い試合が多く見られました。毎年恒例のクラスオリジナルTシャツを着て激動の2日間を過ごし、皆の絆がより一層深いものになりました。

10月には文化祭を開催する予定です。オープンキャンパスでは紹介しきれなかった白工の魅力が溢れる素晴らしい行事の1つですので、皆さん是非お越しください！



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

(2) 名取高校 <新体操部>

私たち新体操部は、8月13日(土)から14日(日)に香川県で開催されたインターハイに出場しました。個人では、遠藤悠斗(3年)が個人総合で第8位、種目別ではスティックで第6位入賞を果たしました。怪我を抱えながらの調整ではありましたが、今できる限界の演技を披露することができました。団体は、登録人数の6人しかいない部員数だったため、怪我への配慮に加え、新型コロナウイルス感染対策にも気をつかいながらの練習で調整がとても難しかったです。しかし、その分今まで以上に集中して取り組むことができ、大きなミスも無い納得の演技で、第10位という結果を収めることができました。個人・団体ともに工夫して行ってきた練習の成果を十分に発揮できた内容で満足しています。今後は、新チームとなりますが、今年得た経験を生かして頑張っていきます。応援、宜しくお願いいたします。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(3) 泉高校 <2022年度 英語科発表会>

8月30日(火)、仙台市青葉区の日立システムズホール仙台で、英語科発表会が開催されました。

この発表会では、英語科に在籍する全学年の生徒が、当日の運営から発表までの一切を行いました。

発表会では、スピーチ(弁論)、レシテーション(物語の暗唱やオリジナルスキット)、ショーアンドテル(好きな物の写真を見せて発表)、プレゼンテーション(興味を持った課題について発表)、ミュージカル、スケッチ(劇)、ディベート(あるテーマに関して賛成派、反対派に分かれて討論)が披露されました。

今年度は3年ぶりに有観客での実施となりました。生徒たちは少し緊張した様子でしたが、実施できたことに感謝しながら、それぞれ堂々と英語によるパフォーマンスを行いました。観覧した保護者からは、「このような機会は大切だと思います。子供の成長を感じました。」との感想をいただきました。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://izumihigh.myswan.ed.jp>



(4) 利府高校 <「さわやか 利府高」>

本校は、「さわやか 利府高」を合言葉に、いつも笑顔があふれ、元気なあいさつが飛び交う活気に満ちた学校です。質の高い文武両道を目指し、日々諸活動に励んでいます。

《普通科》

必修科目の他に多くの選択科目が開設されており、じっくりと学習に取り組める教育課程となっています。週末課題や各種課外講習などを通して「自立する学習者」を目指し、個々の目標達成をサポートしています。また、部活動では、スポーツ科学科の生徒と共に全国の舞台で活躍しています。



《スポーツ科学科》

スポーツを科学的に分析し、高度な技能の習得による競技力向上や生涯スポーツに必要な基礎知識を学ぶだけでなく、「スポーツ経験を社会で活かせる人間の育成」を目指し、専門的な教育活動を展開しています。また、外部講師による授業では、より専門性の高いスポーツの最先端について学ぶことができます。

《部活動》

利府高校は部活動が大変盛んな学校で運動部・文化部ともに素晴らしい成績を残しています。引き続き新型コロナウイルス感染症のため制限が多い中でも、各種大会において上位入賞を果たすなど大いに活躍しているところです。これからも各種大会・選手権・コンクールなどへの参加が予定されています。利府高校生のますますの活躍に御注目ください。

さらに、本校では部活動が大好きな中学生を対象に『部活動支援プロジェクト』と称し、講習会や合同練習会を開催しています。県内の中学生のみならず、利府高校生と一緒に活動してみませんか？詳しくは本校HPを御覧ください。



< 学校のホームページはこちらです >

<http://rifu-h.myswan.ed.jp/>

(5) 古川高校 <「古高の祭り」と部活動>

ここ2年、コロナ禍の中で大幅に縮小されてしまった古高祭。今年度は少しずつ状況も改善されてきたという判断から、本来の2日間での開催、さらには飲食模擬店の復活や、本校保護者に限ってはありますが一般客の観覧を受け入れるなど、少しずつ従来の形式に戻すことができました。もちろん、さまざまな感染症対策を講じながらではありますが…。コロナ禍での3回目の古高祭、ここ2年とはまた異なる新しい古高祭を、実行委員会が一丸となって作りあげました。

今年度の古高祭では、昨年度の経験を活かしたwith コロナの工夫もなされました。飲食スペースを設けて食べ歩きを禁じたり、入場者の健康状態を把握したりなど、例年に比べて多くのお客様を迎えるという緊張感もありましたが、おおむねうまくいきました。昨年度に引き続き全校モザイクアート製作や古高祭オリジナルグッズの販売などを実施したり、ステージ発表においてはクラス代表による「IPPON グランプリ」という大喜利を勝ち抜いたクラスに、最終日の「フルコレ（古高ファッションショー）」の座席順を有利にするなど、より多くの生徒が参加・体験できる企画を前面に打ち出しました。実行委員は当日まで大忙しでしたが、この閉塞感の漂う日々の状況をもひっくり返すかのような充実感に包まれた古高祭となりました。なお、古高祭の売り上げの一部は、近隣の人々への感謝の意味も込めつつ、また思い出の少ない高校生活の節目になればと、9月30日（金）に実施される打ち上げ花火の費用に充てました。

9月1日（木）・2日（金）には待望の体育祭が実施されました。こちらもほぼ例年通り、2日間での開催とし、1日目は球技の予選、2日目は球技の決勝と運動会競技を実施しました。昨年度に引き続き、開会式の準備体操時には恐怖の応援団が登場し、コミカルに踊りながら体を動かし和やかにスタートしました。各競技とも非常に熱が入り、レベルの高い試合が展開されました。多くの競技で3年生の活躍が目立ち、最後にかかる意気込みが伝わりました。若干、ケガ人が出てしまいましたが、最後の学校行事を意欲的に楽しもうとする姿が、本当に印象的でした。

コロナ禍でも今年度の古高は、県総体や上部大会において活躍することができました。

ソフトボール部、剣道部男子は県で準優勝し、残念ながらインターハイを逃してしまいましたが、東北大会では大いに活躍することができました。陸上競技部は男子のリレーを中心に東北大会出場という結果を残しました。さらに個人では剣道部熊谷颯太くんが3位に入賞し、東北大会でもベスト8に進出するなどの快挙をあげることができました。熊谷くんは国体選手にも選ばれ、青森県で開催された東北総体では宮城県の次鋒として4位入賞の原動力となりました。現在は、各運動部が地区新人大会、県新人大会の開催を信じ、日々活動に励んでいるところです。

文化部も健闘していて、全国総合文化祭には、文芸部3年、柴田穰くんが参加しています。



[古高祭 合唱部発表 (令和4年度)]

< 学校のホームページはこちらです >
<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(6) 中新田高校 <地元密着！加美町と連携した学校を目指して>

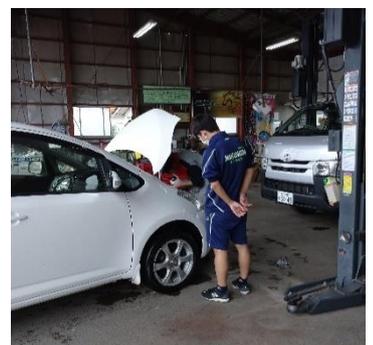
中新田高校は、加美町唯一の高校で、地域から信頼され、地域に貢献する学校として、加美町と連携を深めてきました。1学年の「総合的な探究の時間」で実施する「加美町研究」では、加美町について理解を深め、加美町を題材として、自分の視点で課題を見つけ、研究していきます。昨年度の研究の1つでは、加美町の郵便局で使用する「風景印（郵便物に押印するスタンプで、風景や名所にちなんだ図柄のもの）」を調べ、その図柄を作成し、実際に郵便局に採用してもらいました。2学年では、7月に3日間のインターンシップを3年ぶりに実施し、加美町の事業所を中心に、地域の皆さんの協力で、様々な職業の体験学習をさせていただきました。来年度開講する学校設定科目「地域創造学」では、加美町で盛んなカヌーやロードバイクを体験する授業や、加美町の産業・観光・防災などを教室から飛び出して学ぶ授業を行う予定です。今年、創立50年目を迎えた中新田高校は、これまで以上に、地域の方々とのつながりを深め、地元密着の高校を目指していきます。



【実際に採用された風景印】



【インターンシップの様子】



< 学校のホームページはこちらです >
<https://nakani-h.myswan.ed.jp/>

(7) 涌谷高校 <活動報告>

○全国高総文祭東京大会に書道と弁論が県代表として参加しました！

8月に開催された第46回全国高等学校総合文化祭書道部門に県代表として3年生の島瀬望歩さんが参加しました。また、弁論部門には2年生の千葉桃郁さんが参加しました。本年度もコロナ禍で制約された大会でしたが、他県の生徒との交流を深めてきました。



○夏休みに地域のボランティアに参加しました！

8月22日（月）、23日（火）に生徒11名が、涌谷町高齢者福祉複合施設ゆうらいふで「おらほのベンチ」を作るボランティアに参加しました。地域の方々と共に、涌谷町内のバス停などに設置されるベンチを作製しました。このようなボランティアを通して生まれる地域とのつながりが、いざというときに力を発揮します。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://wakuya-h.myswan.ed.jp/>

(8) 登米総合産業高校 <各種大会結果>

本校では毎年、各学科および部活動において多くの生徒が大会や競技会等で活躍しています。今年度は、商業部が第69回宮城県高等学校ビジネス計算競技大会にて団体総合競技で準優勝、応用計算競技で個人2位となり、8月に東京で行なわれた全国大会に出場しました。また、福祉科の生徒が、青森県で行なわれた第8回東北地区高校生介護技術コンテストに出場し奨励賞を受賞しました。

運動部においても、男子ソフトボール部が第71回宮城県高等学校総合体育大会で3位となり、山形県で行なわれた東北大会に出場しました。また、空手道部が青森県で行なわれた第49回東北総合体育大会(ミ二国体)に相手少年男子の代表として出場しました。これらをはじめ多くの生徒たちが活躍しています。詳しくは本校のホームページを御覧ください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

(9) 築館高校 <3年後、なりたい自分がそこにいる>

築館高校は、『3年後、なりたい自分がそこにいる』のキャッチフレーズのもと、生徒一人ひとりがなりたい自分を目指して、様々なことにチャレンジできる高校です。日々の学習はもちろん、部活動、学校行事、ボランティア活動等、「築高だからこそ」できることが数多くあります。

学校行事で特筆すべきは、旧築高時代から続く膳紫定期戦(対古高定期戦)です。今年度は、築館高校を会場に2年ぶりに両校が集い、13種目で熱戦を繰り広げました。また、長谷川杯争奪弁論大会、合唱コンクールも伝統ある行事です。特に、本校弁論大会の上位入賞者は県弁論大会でも高い評価を得ており、全国総合文化祭への出場も果たしています。

また、探究活動にも力を入れています。地域の活性化についてグループごとにテーマを設定し、フィールドワーク等を通じ理解を深めます。この取組は全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」とも連携しており、令和3年度は全国ステージにおいて金賞を受賞しました。他にも、ボランティア活動等に積極的に取り組んでいます。地域に貢献することを第一の目標とし、地域の小学生の学習補助を行うサマースクールボランティアなどを行い、社会全体を学びの場とし、生き生きと活動しています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tukiko.myswan.ed.jp/>

(10) 石巻北高校 <部活動への取り組みについて>



運動部は、各種上位大会進出を目指し、日々練習に取り組んでいます。今年度は剣道部男子が県総体団体ベスト8に輝きました！

県総体へ出場した部としては、男子バスケットボール部、男子・女子卓球部、男子・女子ソフトテニス部、男子・女子バレーボール部、柔道部、陸上競技部など様々な部です。また、他の運動部でも県大会出場を目指して活動しています。

文化部では、華道部が高校生花いけバトル全国選抜大会で決勝リーグ戦に出場しました。演劇部はリーダー研修会や舞台技術研修会に参加し、秋の大会に向けた努力を継続しています。

『人の数だけ道がある』

みなさんも石巻北高校にきて、部活動で汗を流してみませんか。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://ishikita.myswan.ed.jp>



HPアクセス用二次元コード



4 お知らせ

(1) 蔵王高校 <蔵王高校 文化祭を開催します>

10月29日(土)9:20~11:50に蔵王高校文化祭を開催します。今年度も新型コロナウイルスの影響があり、事前申請制とし、一般公開ではなく申請者限定公開で行います。「SHINE(シャイン)~最高の笑顔を~」というテーマのもと、生徒一人ひとりが活躍し、輝ける文化祭を目指します。今年度は屋台等の出店はせず、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、文化部による展示や、音楽部・有志団体によるステージ発表、1年生のトーンチャイム演奏等、工夫を凝らした内容になっています。

昨年に続きコロナ禍での文化祭ですが、生徒が一所懸命アイデアを出し、輝けるものが出来上がります。本校生の頑張っている姿を通して、少しでも皆様に勇気や元気を届けられればと思っています。



※写真は昨年度の文化祭のものです。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 村田高校 <令和4年度 村高祭『An Adventure Named Fun』>

～楽しむという名の冒険を～>

【 村田高校は、主体的に考えて行動できる力を持ち、自らの夢や希望の実現を図れる生徒を育成しています 】

村田高校の今年の文化祭『村高祭』のテーマは『An Adventure Named Fun』と決まりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行が相変わらず猛威を振るっている状況であり、非常に悩ましいところですが、今年度も一般公開は行わず在校生の家族のみ来校可とする方向で検討しています。

多くの一般の皆様のお来場をお迎えすることができず3年目となり大変残念ですが、限られた範囲の中で工夫しながら、村高生の文化活動を表現する展示・発表・販売等を行っていきたいと考えています。

『村高祭』校内発表

日程 10月22日(土) 9:30~13:15

会場 宮城県村田高等学校 [柴田郡村田町大字村田字金谷1番地]

【 JR「大河原駅」からミヤコーバス川崎行き「村田南町」下車 徒歩5分 】

在校生の家族のみ来校可とします。(※検温等の御協力をいただきます。)

今年の「村高祭」から



< 学校のホームページはこちらです >

<https://murata-h.myswan.ed.jp>

(3) 仙台第三高校 <SSH中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラム・三高SSH×東北大学GLCの取組について>

本校では、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校として「SSH中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラム」を行っています。SSH事業は今年度が第Ⅲ期目（5年）の1年目となります。また、本校ではSSH事業と連携して授業づくり研究センターが中心となり、全職員でPBL型や教科横断型の授業など、実践的教育プログラムの開発に取り組んでいます。

今年度のフォーラムは12月15日（木）に本校を会場として、これまで実践してきた成果を報告いたします。現時点で上智大学総合人間科学部教授の奈須正裕氏をお迎えし、御講演を行っていただく予定です。今後HP等を通じて申込の受付をする予定です。

また、毎年東北大学グローバルラーニングセンターの留学生の方々に、理数科の課題研究を英語で発表するためのサポートをさせていただいております。今年は6月からZoomテレビ会議システムによる9回のセッションを行います。1月にはマレーシアのマラヤ工科大学の学生を対象に、Zoomによる課題研究の口頭発表を行う予定です。

仙台三高は、これからも教員と生徒が共に研鑽を積みながら学校を作り上げます。

昨年度の様子



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sensan.myswan.ed.jp/>